

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2497 URL http://united.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)早川 与規
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)山崎 良平 (TEL) (03)6821-0000
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,100	40.6	219	—	470	—	708	—
26年3月期第3四半期	4,339	54.9	6	—	18	—	△21	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 897百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	30.13	29.96
26年3月期第3四半期	△0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,024	8,424	83.9
26年3月期	8,200	7,159	87.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,409百万円 26年3月期 7,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年3月期	—	1.00	—		
27年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】(P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	23,588,996株	26年3月期	23,370,034株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	7,311株	26年3月期	7,061株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	23,525,953株	26年3月期3Q	22,560,509株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年2月4日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、当社ホームページで掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減による消費マインドの低迷が見られる一方で、政府と日銀による経済政策及び金融政策の効果が实体经济へと徐々に波及し、緩やかな回復基調が継続する展開となりました。

当社グループが主に事業展開を行うスマートフォン関連市場においては、平成26年10月の㈱MM総研の報告によりますと、平成26年9月末のフィーチャーフォン、スマートフォンの国内合計端末契約数におけるスマートフォンの契約割合は、50.3%の6,248万件と過半数を突破しております(*1)。また、平成26年1月の㈱マイクロアドの報告では、スマートフォンの国内RTB広告市場の規模が平成26年は91億円(前年比146%増)と予測されております(*2)。

こうした環境のもと、当社グループにおきましては、注力事業である「スマートフォンメディア事業」及び「RTB(*3)広告事業」が収穫期に入ったと位置付け、両事業を中心に売上高・営業利益を拡大するべく事業展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォンメディア事業及びRTB広告事業の両事業において収益が拡大し、この結果、売上高は6,100百万円(前年同四半期比40.6%増)となり、営業利益は219百万円(前年同四半期は6百万円の利益)、経常利益は470百万円(前年同四半期は18百万円の利益)、四半期純利益は708百万円(前年同四半期は21百万円の損失)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、投資有価証券の売却により380百万円の特別利益を計上しております。また、ソフトウェアの除却損として20百万円、事業の採算性が見込めない状況となった非連結子会社に係る会社清算関連費用として関係会社整理損38百万円をそれぞれ特別損失として計上しております。

(*1)㈱MM総研『2014年度上期 国内携帯電話端末出荷概況』(平成26年10月)

(*2)㈱マイクロアド『RTB(Real Time Bidding)経由のディスプレイ広告市場規模予測』(平成26年1月31日公表)

(*3)RTB:リアルタイム・ビidding。リアルタイム入札によって広告取引を行う仕組みを指す。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(イ) メディア事業

メディア事業は、スマートフォン向けメディアの運営を行うスマートフォンメディア事業、メール広告等のデータベースマーケティング事業、スポーツマーケティング事業を提供しております。

スマートフォンメディア事業につきましては、当社グループにおける注力事業の1つと位置づけており、積極的に経営資源の投入を行ってまいりました。

そのような中、直近では、スマートフォン向けアプリ『CocoPPa(ココッパ)』が世界累計3,200万ダウンロードを突破し、関連サービスの『CocoPPa Play』を中心に収益拡大を牽引しました。また新たにユーザー参加型のアイドル応援アプリ『CHEERZ(チアーズ)』や「カジュアルゲームアプリ」の提供を開始する等のサービス提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は2,501百万円(前年同四半期比14.7%増)と大きく伸長しましたが、セグメント利益は217百万円(前年同四半期比17.8%減)となりました。

(ロ) 広告事業

広告事業は、自社RTB広告プラットフォーム(広告主向けサービス『Bypass(バイパス)』及びメディア向けサービス『AdStir(アドステア)』)、広告主向けにRTB広告商品の提案・運用を行うトレーディングデスク等を提供しており、また、自社RTB広告プラットフォーム及びRTB広告商品にかかるトレーディングデスクは「RTB広告事業」として当社グループにおけるもう一つの注力事業と位置づけております。

当社グループのRTB広告事業は、市場の伸びが大きいスマートフォン領域に特化して展開しており、自社RTB広告プラットフォームを中心に収益の拡大傾向が継続しています。

こうした背景に基づく収益拡大の結果、当第3四半期連結累計期間においては、広告事業の売上高は3,559百万円(前年同四半期比73.8%増)となり、セグメント利益は352百万円(前年同四半期比499.6%増)となりました。

(ハ) インベストメント事業

インベストメント事業は、主にシード／アーリーステージを中心としたベンチャー企業への投資を提供しております。

当事業におきましては、当第3四半期連結累計期間においてファンド運用損益の計上等があったことから、売上高106百万円（前年同四半期比26.8%減）、セグメント利益64百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,823百万円増加し、10,024百万円となりました。これは主に事業拡大に伴い売掛金が448百万円増加したこと、営業投資有価証券及び投資有価証券が1,144百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ558百万円増加し、1,599百万円となりました。これは主に事業拡大に伴い買掛金が354百万円増加したこと等によります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ1,264百万円増加し、8,424百万円となりました。これは主に新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金が419百万円増加したこと、四半期純利益の計上及び前期末並びに中間での配当実施に伴う増減により利益剰余金が661百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が111百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期においては、スマートフォンメディア事業とRTB広告事業の既存事業が利益の収穫期に入ったと位置付け、両事業領域を中心に成長を継続し、売上高・営業利益の拡大を目指してまいります。

ただし、中期的な成長に向けた事業機会をつかむために、計画外の新規事業への投資やM&Aなどを行う可能性もあることから、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることが困難であり、合理的な算定ができないため、平成27年3月期の連結業績予想につきましては非開示とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第3四半期連結会計期間において、有価証券の管理方針等の見直しを行い、当該方針に基づき、その他有価証券の一部を営業投資目的の有価証券に変更しました。

その結果、投資有価証券が404,176千円減少し、営業投資有価証券が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,096,046	5,303,858
受取手形及び売掛金	1,063,987	1,512,127
営業投資有価証券	973,316	1,998,241
たな卸資産	32,792	42,801
その他	79,082	94,711
貸倒引当金	△5,386	△5,795
流動資産合計	7,239,839	8,945,944
固定資産		
有形固定資産	86,221	76,527
無形固定資産		
のれん	3,424	5,990
その他	120,960	104,378
無形固定資産合計	124,385	110,369
投資その他の資産		
投資有価証券	456,724	575,948
関係会社株式	194,444	209,123
その他	108,035	121,892
貸倒引当金	△9,373	△15,684
投資その他の資産合計	749,830	891,280
固定資産合計	960,437	1,078,177
資産合計	8,200,276	10,024,121
負債の部		
流動負債		
買掛金	654,441	1,009,300
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	530	-
未払法人税等	37,259	80,513
ポイント引当金	45,261	41,092
その他	202,800	368,358
流動負債合計	1,040,293	1,599,264
固定負債		
その他	52	72
固定負債合計	52	72
負債合計	1,040,346	1,599,337

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,696,846	2,906,480
資本剰余金	2,813,562	3,023,197
利益剰余金	1,517,697	2,179,546
自己株式	△2,310	△2,818
株主資本合計	7,025,796	8,106,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,968	221,988
為替換算調整勘定	1,135	80,686
その他の包括利益累計額合計	112,104	302,675
新株予約権	21,687	13,306
少数株主持分	342	2,397
純資産合計	7,159,930	8,424,784
負債純資産合計	8,200,276	10,024,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,339,826	6,100,724
売上原価	3,159,379	4,583,241
売上総利益	1,180,447	1,517,483
販売費及び一般管理費	1,174,269	1,297,893
営業利益	6,177	219,589
営業外収益		
受取利息	2,490	2,262
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	12,099	249,265
その他	6,959	3,685
営業外収益合計	21,550	255,214
営業外費用		
支払利息	1,240	1,129
株式交付費	6,727	1,353
その他	1,396	1,991
営業外費用合計	9,364	4,474
経常利益	18,363	470,328
特別利益		
投資有価証券売却益	-	380,275
新株予約権戻入益	2,197	102
持分変動利益	151	-
関係会社株式売却益	7,308	-
資産除去債務戻入益	8,000	-
特別利益合計	17,657	380,377
特別損失		
固定資産除却損	3,239	20,659
持分変動損失	844	2,483
関係会社整理損	-	38,037
事務所移転費用	2,689	-
投資有価証券評価損	2,998	-
減損損失	17,749	-
特別損失合計	27,520	61,180
税金等調整前四半期純利益	8,501	789,525
法人税、住民税及び事業税	33,060	83,086
法人税等合計	33,060	83,086
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,559	706,439
少数株主損失(△)	△3,366	△2,339
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,192	708,779

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△24,559	706,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,378	115,771
為替換算調整勘定	1,823	79,550
持分法適用会社に対する持分相当額	△11,659	△4,723
その他の包括利益合計	16,543	190,598
四半期包括利益	△8,016	897,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,711	899,350
少数株主に係る四半期包括利益	△3,304	△2,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

平成26年6月3日付で、メリルリンチ日本証券株式会社に割り当てた第17回新株予約権のすべての権利行使及び払込が完了致しました。

この結果、資本金が197,710千円、資本剰余金が197,710千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	広告事業	インベストメ ント事業	計		
売上高 外部顧客への 売上高	2,156,981	2,037,731	145,113	4,339,826	—	4,339,826
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,562	10,157	—	33,719	△33,719	—
計	2,180,543	2,047,888	145,113	4,373,545	△33,719	4,339,826
セグメント利益 又は損失(△)	264,607	58,705	67,317	390,629	△384,452	6,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△384,452千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア事業」セグメント及び「広告事業」セグメントにおいて、収益性の低下したソフトウェアについて減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「メディア事業」セグメントで7,773千円、「広告事業」セグメントで9,975千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	広告事業	インベストメ ント事業	計		
売上高 外部顧客への 売上高	2,475,358	3,519,159	106,206	6,100,724	—	6,100,724
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,430	40,193	—	66,623	△66,623	—
計	2,501,788	3,559,352	106,206	6,167,347	△66,623	6,100,724
セグメント利益 又は損失(△)	217,536	352,014	64,848	634,399	△414,810	219,589

(注) 1. セグメント利益の調整額△414,810千円は、各報告セグメントに分配していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(報告セグメントの利益の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をよりの確に把握するため、全社費用の配賦方法を見直しております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間セグメント損益につきましても、変更後の算定方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。